

（仮称）布施分署建設工事について

東大阪市消防局は昭和42年に発足以来、地域に密着した自治体消防としてこれまで市民生活の安全・安心の確保に大きな役割を果たしてきました。しかしながら、近年の消防を取り巻く社会環境は大きく変化しており、警防・予防業務の多様化・複雑化、救急業務の増加・高度化、大規模化する災害への対応など、消防に対する市民ニーズはますます増大しています。加えて、全国各地で地震及び台風、集中豪雨などの局地的な自然現象による災害が多発しており、さらには、南海トラフ地震の発生確率が今後30年以内に70から80%と想定されていることから、消防力の充実、強化が求められています。これらのことから、人口減少傾向にある社会情勢や南海トラフ地震などの自然災害への対応、超高齢社会に伴う救急需要の増加を踏まえ、社会環境の変化に即応し、地域住民の安全・安心を守り続ける防災拠点施設の整備が必要です。

本事業では安全性・機能性に富んだ出動動線を確保できる良好な道路（市道大阪金岡線）に接する計画地を選定し、布施周辺に分散配置されている消防署所を統合することで、より効果的・効率的な消防体制を構築し、集中多機能化された消防分署を整備するとともに、地域防災力の向上と災害に強く、環境にやさしい防災拠点づくりを図ります。



【新消防分署の統合範囲】